

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Application of :
Toshifumi OTSUBO :
Serial No. Not yet assigned : Group Art Unit: Not yet assigned
Filed: herewith : Examiner: N/A
For: DISPOSABLE BODY FLUID ABSORBENT WEARING ARTICLE

JC879 U.S. PTO
10/067334
02/07/02

**CLAIM OF PRIORITY AND
TRANSMITTAL OF CERTIFIED PRIORITY DOCUMENT**

Assistant Commissioner For Patents
Washington, D.C. 20231

Dear Sir:

In accordance with the provisions of 35 U.S.C. 119, Applicant hereby claims the
priority of:

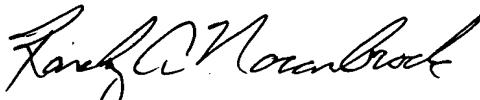
Japanese Application No. 2001-031553 filed February 7, 2001

cited in the Declaration of the present application.

The certified copy is submitted herewith.

Respectfully submitted,

LOWE HAUPTMAN GILMAN & BERNER, LLP



Randy A. Noranbrock
Registration No. 42,940

Date: February 7, 2002
1700 Diagonal Road, Suite 310
Alexandria, Virginia 22314
(703) 684-1111
BJH:eb

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

1c679 U.S. PTO
10/067334



US

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2001年 2月 7日

出 願 番 号

Application Number:

特願2001-031553

出 願 人

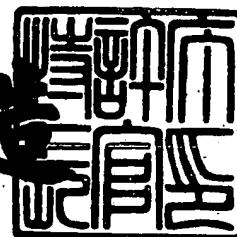
Applicant(s):

ユニ・チャーム株式会社

2001年12月28日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



【書類名】 特許願

【整理番号】 SL13P013

【提出日】 平成13年 2月 7日

【あて先】 特許庁長官 及川 耕造 殿

【国際特許分類】 A61F 13/00

【発明の名称】 使い捨ての体液吸収性着用物品

【請求項の数】 6

【発明者】

【住所又は居所】 香川県三豊郡豊浜町和田浜高須賀 1 5 3 1 - 7 ユニ・
チャーム株式会社テクニカルセンター内

【氏名】 大坪 俊文

【特許出願人】

【識別番号】 000115108

【氏名又は名称】 ユニ・チャーム株式会社

【代表者】 高原 慶一郎

【代理人】

【識別番号】 100066267

【弁理士】

【氏名又は名称】 白浜 吉治

【電話番号】 03(3592)0171

【選任した代理人】

【識別番号】 100108442

【弁理士】

【氏名又は名称】 小林 義孝

【電話番号】 03(3592)0171

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 006264

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9904036

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 使い捨ての体液吸収性着用物品

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 透液性表面シートと、不透液性裏面シートと、これら両シート間に介在する吸液性芯材とによって体液吸収性パッドが形成され、前記パッドが前方に位置する前胴周り部と、後方に位置する後胴周り部と、これら前後の中間に位置する股下部とを有し、前記各部のうちの少なくとも前胴周り部と後胴周り部とが身体に対する着用手段と一体をなしている使い捨ての体液吸収性着用物品において、

前記パッドの股下部両側には、前記表面シートの前記芯材側に位置する下面どうしが合掌状に重なり合って接合することにより一对のダーツが形成され、前記一对のダーツは、前記パッドの幅を二等分する中心線へ向かって凸となる弧を画いて互いに対向しており、前記パッドの幅方向において前記一对のダーツ間と、ダーツそれぞれの外側部位とには前記芯材を構成する内側芯材部分と外側芯材部分とが配置されていて、これら内外側芯材部分が前記パッドの前後方向において前記ダーツを越えた前方の部位および後方の部位の少なくとも一方において連続しており、前記芯材の外周は前記表面シートと裏面シートとにつながって前記芯材の外方へ延びるフラップによって囲まれ、前記フラップのうちで前記芯材の両側縁から外方へ延びる側縁部フラップが前記パッドの内面へ向かって折り返されて該側縁部フラップの前記前方と後方とに位置する両端縁部分が前記内面に接合することにより、前記側縁部フラップと前記外側芯材部分との間に前記パッドの内方へ開口するポケットが形成され、折り返された前記側縁部フラップの内側縁部には前記中心線に平行な弾性部材が伸長状態で取り付けられていることを特徴とする前記着用物品。

【請求項 2】 前記内外側芯材部分が連続する部位において、前記内側芯材部分は前記前方および後方いずれかに向かって幅が次第に広くなるように変化している請求項 1 記載の着用物品。

【請求項 3】 前記ダーツでは、前記表面シートの下面どうし間に前記裏面シートが介在して該裏面シートどうしが接合し、前記表面シートどうしが前記裏

面シートを介して接合している請求項 1 または 2 記載の着用物品。

【請求項 4】 折り返されている前記側縁部フラップの内側縁部が前記中心線に向かって弧を描いているダーツの頂部近傍に位置している請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の着用物品。

【請求項 5】 折り返されている前記側縁部フラップは、前記前後両端縁部間における中央部位の一部分が前記ダーツの外側部位の内面に接合している請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の着用物品。

【請求項 6】 前記着用手段がパンツ型のものである請求項 1 ～ 5 のいずれかに記載の着用物品。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

この発明は、使い捨ておむつを一例とする使い捨ての体液吸収性着用物品に関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

特開平 7 - 1 1 2 0 0 3 号公報に開示の使い捨て吸収性パッドは、パッド本体と弾性ウエストバンドとを有する。この吸収性パッドは透液性トップシートと、不透液性バックシートと、これら両シート間に介在する吸液性コアとからなり、コアの長さ方向両端部から延出するエンドフラップの先端部が弾性ウエストバンドに連結されている。吸収性パッドには、その幅方向へ延出し、長さ方向への伸縮性を有するサイドフラップが形成され、このサイドフラップの長さ方向の少なくとも一部分が吸収性パッドの内側へ折り返されている。かかる吸収性パッドは、弾性ウエストバンドを腰に当てて着用すると、パッド本体が脚のつけ根の内側において肌に密着する。

【 0 0 0 3 】

特開平 7 - 1 5 5 3 4 4 号公報に開示の使い捨てパンツは、伸縮性のパンツ部材とパッド部材とからなる。パッド部材は透液性トップシートと、不透液性バックシートと、これら両シート間に介在する吸液性コアとを有し、コアの長手方向

両端と幅方向両側縁とからはエンドフラップとサイドフラップとが延びている。エンドフラップの先端部はパンツ部材のウエスト近傍に固定されている。サイドフラップは、長手方向への伸縮性を有するもので、パッド部材の内方へ向かって開口するポケットを形成している。かかる使い捨てパンツは、パンツ部材を着用すると、パッド部材が足のつけ根の内側において肌に密着する。

【 0 0 0 4 】

【発明が解決しようとする課題】

前記特開平 7 - 1 1 2 0 0 3 号公報や同平 7 - 1 5 5 3 4 4 号公報に開示された類のパッド本体やパッド部材等の体液吸収性パッドは、脚のつけ根の内側で肌によく密着することが意図されていて股下域での幅が狭く、その幅をあまり広げることができない。そのようなパッドでは、パッド股下域での体液吸収可能な表面積や容積を大きくすることができず、体液を速やかに吸収することが難しいという場合がある。

【 0 0 0 5 】

この発明は、体液吸収性パッドの股下域における幅を狭くしても体液の速やかな吸収が可能な使い捨ての体液吸収性着用物品の提供を課題にしている。

【 0 0 0 6 】

【課題を解決するための手段】

前記課題解決のためにこの発明が対象とするのは、透液性表面シートと、不透液性裏面シートと、これら両シート間に介在する吸液性芯材とによって体液吸収性パッドが形成され、前記パッドが前方に位置する前胴周り部と、後方に位置する後胴周り部と、これら前後の中間に位置する股下部とを有し、前記各部のうちの少なくとも前胴周り部と後胴周り部とが身体に対する着用手段と一体をなしている使い捨ての体液吸収性着用物品である。

【 0 0 0 7 】

かかる着用物品において、この発明が特徴とするところは、次のとおりである。前記パッドの股下部両側には、前記表面シートの前記芯材側に位置する下面どうしが合掌状に重なり合って接合することにより一对のダーツが形成され、前記一对のダーツは、前記パッドの幅を二等分する中心線へ向かって凸となる弧を画

いて互いに対向している。前記パッドの幅方向において前記一对のダーツ間と、ダーツそれぞれの外側部位とには前記芯材を構成する内側芯材部分と外側芯材部分とが配置されていて、これら内外側芯材部分が前記パッドの前後方向において前記ダーツを越えた前方の部位および後方の部位の少なくとも一方において連続している。前記芯材の外周は、前記表面シートと裏面シートとにつながって前記芯材の外方へ延びるフラップによって囲まれている。前記フラップのうちで前記芯材の両側縁から外方へ延びる側縁部フラップが前記パッドの内面へ向かって折り返されて該側縁部フラップの前記前方と後方とに位置する両端縁部分が前記内面に接合することにより、前記側縁部フラップと前記外側芯材部分との間に前記パッドの内方へ開口するポケットが形成され、折り返された前記側縁部フラップの内側縁部には前記中心線に平行な弾性部材が伸長状態で取り付けられている。

【 0 0 0 8 】

【発明の実施の形態】

この発明に係る使い捨ての体液吸収性着用物品として使い捨ておむつを例にとり、添付の図面を参照してその詳細を説明すると、以下のとおりである。

【 0 0 0 9 】

図 1 に部分破断斜視図で示された使い捨ておむつ 1 は、パンツ型のカバー 2 と、カバー 2 の内側に取り付けられた体液吸収性のパッド 3 とを有する。カバー 2 は、前胴周り域 6 と後胴周り域 7 と股下域 8 とを有し、前後胴周り域 6, 7 の側縁部どうしが溶着部 9 で接合することによって胴周り開口 1 1 と一对の脚周り開口 1 2 とを形成している。カバー 2 は、不透液性のプラスチックフィルム 1 3 と不織布 1 4 とが積層されたシートからなり、胴周り開口 1 1 と脚周り開口 1 2 との周縁部の周り方向には弾性部材 1 6, 1 7 が延び、これら弾性部材 1 6, 1 7 がフィルム 1 3 と不織布 1 4 との少なくとも一方の内面に伸長状態で接合している。パッド 3 は、カバー 2 の内面に沿って股下域 8 を中心に前胴周り域 6 と後胴周り域 7 とにおける開口縁部 1 8, 1 9 にまで延びている。

【 0 0 1 0 】

図 2 は、図 1 においてカバー 2 の溶着部 9 を剥がし、おむつ 1 を矢印 2 1, 2 2 方向へ伸展したときのおむつ 1 の部分破断平面図である。カバー 2 は、砂時計

型を呈し、股下域 8 の両側縁部は内方へ向かって凸となるように湾曲している。カバー 2 の開口縁部 1 8, 1 9 間に延びるパッド 3 は、カバー 2 の幅を二等分する中心線 2 3 上に位置している。

【 0 0 1 1 】

パッド 3 は、おむつ 1 着用者の肌側に位置する透液性の表面シート 3 1 と、カバー 2 側に位置する不透液性の裏面シート 3 2 と、これら両シート 3 1, 3 2 間に介在する吸液性芯材 3 3 とからなり、前後胴周り域 4 6, 4 7 と股下域 4 8 とを有する。開口縁部 1 8, 1 9 間におけるこれら各域 4 6 ~ 4 8 の寸法は、カバー 2 の各域 6 ~ 8 のそれにほぼ一致している。表裏面シート 3 1, 3 2 は、芯材 3 3 の周縁部から外へ延出して互いに水密に接合することにより芯材 3 3 の外周を囲む前後の端縁部フラップ 3 6, 3 7 と、両側縁部フラップ 3 5 とを形成している。前後の端縁部フラップ 3 6, 3 7 はカバー 2 の開口縁部 1 8, 1 9 の内面に接着剤 4 6 (図 3 参照) によって接合し、側縁部フラップ 3 5 は、パッド 3 の内面へ向かって折り返されている。その側縁部フラップ 3 5 の前後両端縁部分 3 9, 4 0 は、ホットメルト接着剤 4 1 を介して、パッド 3 の内面に接合し、両端縁部分 3 9 と 4 0 との間の部分はパッド 3 内面に対して非接合状態にある。側縁部フラップ 3 5 の内側縁部 4 5 は、中心線 2 3 に平行する袋を形成するように折り重ねられており、その袋の内面には中心線 2 3 に平行な弾性部材 4 2 が伸長状態で接合している。パッド 3 における股下域 4 8 の両側には、中心線 2 3 を挟んで対向する一対のダーツ 4 9 がとられている。ダーツ 4 9 は、中心線 2 3 に向かって凸となる弧を画いている。

【 0 0 1 2 】

芯材 3 3 は、ほぼ砂時計型を呈しているが、股下域 4 8 では、一対のダーツ 4 9 間に位置する内側芯材部分 5 8 と各ダーツ 4 9 の外側に位置する外側芯材部分 5 9 とに分離している。また、これら内外側芯材部分 5 8, 5 9 は、パッド 3 の前後方向においてダーツ 4 9 を越えて内側芯材部分 5 8 の幅が後胴周り域 4 7 へ向かって次第に広がる後胴周り域 4 7 寄りの後方部位において連続し、前胴周り域 4 6 寄りの前方部位において分離している。

【 0 0 1 3 】

図 3 は、図 2 の中心線 2 3 に沿う切断面を示す。カバー 2 では、フィルム 1 3 と不織布 1 4 とが接着または溶着（いずれも図示せず）によって間欠的に接合している。パッド 3 では、表面シート 3 1 と裏面シート 3 2 とが芯材 3 3 の端縁部から延出して前後の端縁部フラップ 3 6, 3 7 を形成している。パッド 3 は、前後端縁部フラップ 3 6, 3 7 が接着剤 4 6 を介してカバー 2 に接合している他に、中心線 2 3 上の部位やその他適宜の部位が接着剤 5 1 を介してカバー 2 に接合している。

【 0 0 1 4 】

図 4 ～ 6 は、図 2 の I V - I V 線、V - V 線および V I - V I 線に沿った切断面を示す。V - V 線は、パッド 3 の上下方向の寸法を二等分する中心線に一致している。図 4 において、パッド 3 の表裏面シート 3 1, 3 2 は芯材 3 3 から延出して重なり合い、互いに接合している。裏面シート 3 2 は、表面シート 3 1 よりもさらに長く延出して側縁部フラップ 3 5 の大部分を形成している。かかる側縁部フラップ 3 5 は、芯材 3 3 を覆うようにパッド 3 の内方へ折り返され、その内方へ向かって開くことが可能な開口 5 3 を有するポケット 5 4 を形成している。

【 0 0 1 5 】

図 5 において、パッド 3 に形成されたダーツ 4 9 では、芯材 3 3 のうちでダーツ 4 9 と 4 9 との間に配置された内側芯材部分 5 8 を覆っている表裏面シート 3 1, 3 2 とダーツ 4 9 の外側部位に配置された外側芯材部分 5 9 を覆っている表裏面シート 3 1, 3 2 とが表面シート 3 1 の下面 5 6 どうしを対向させるとともに、裏面シート 3 2 の下面 5 7 どうしを対向させるように合掌状に重なり合い、溶着または接着によって接合している。芯材 3 3 を形成する内側芯材部分 5 8 と外側芯材部分 5 9 とは、股下域 4 8 においてダーツ 4 9 を挟むように、パッド 3 の幅方向で分離した状態にある（図 2 参照）。外側芯材部分 5 9 を覆う表面シート 3 1 と裏面シート 3 2 とは、芯材 3 3 の側縁の一部分を形成しているこの外側芯材部分 5 9 の側縁から外へ延びて互いに接合し、裏面シート 3 2 はさらに長く延びて側縁部フラップ 3 5 の大部分を形成している。かかるパッド 3 の股下域 4 8 では、内側芯材部分 5 8 が図示の如くほぼ水平であるときに、外側芯材部分 5 9 を含むパッド 3 の側縁部分 6 0 は、合掌状に作られてヒンジのように作用する

ダーツ 49 を基端にして内側芯材部分 58 から斜め下方へ垂れ下がる傾向を示す。このときの側縁部フラップ 35 は、外側芯材部分 59 の縁の近傍で折り返されて斜め上方へ延び、ポケット 54 もまた斜め上方へ向かって延びている。

【0016】

このように作用するダーツ 49 は、パッド 3 の股下域 48 において、表裏面シート 31, 32 の側部を中心線 23 方向へ図 2 のように弧を描くように引き寄せ、その弧の部分で表裏面シート 31, 32 を図 5 に示されるように接合することによって得ることができる。弧を描くダーツ 49 は、中心線 23 寄りに頂部 50 を有する。好ましいパッド 3 では、その頂部 50 近傍の上方に側縁部フラップ 35 の内側縁部 45 を位置させることによって、側縁部フラップ 35 と外側芯材部分 59 との間にポケット 54 が形成されている。パッド 3 にダーツ 49 が形成されることによって、図 2 のパッド 3 では、側縁部フラップ 35 の折り返し線 72 がパッド 3 の内方へ向かって凸となる弧を描いている。

【0017】

図 6 において、側縁部フラップ 35 は、図 4 のそれと同様にポケット 54 を形成している。ただし、パッド 3 の前胴周り域 46 では、芯材 33 の幅が後胴周り域 47 のそれよりも狭く（図 2 参照）、芯材 33 はポケット 54 の奥にまでは延びていない。前胴周り域 46 では、後胴周り域 47 と同様に芯材 33 の幅を広くすることも可能であるが、図 2 に示されるように芯材 33 の幅を狭くして、前胴周り域 46 が芯材 33 によって大きく嵩張ることがないようにすることができる。

【0018】

図 7 は、着用したおむつ 1 において、パッド 3 の股下域 48 が着用者の肌に当接する状態を示す模式図である。仮想線で示された着用者の脚 61 のつけ根とつけ根との間の部位 62 に対しては、おむつ 1 のダーツ 49 と 49 との間に位置する内側芯材部分 58 が当接する。ダーツ 49 は脚 61 のつけ根に向かって延び、図 5 に示されるようにそのダーツ 49 がヒンジとして機能して外側芯材部分 59 を含むパッド 3 の側縁部分 60 が脚 61 の内側に沿って下方へ垂れ下がるように延びている。着用したおむつ 1 が着用者の身体に沿って股下域 8 を中心に前後胴

周り域 6, 7 方向へ U 字形に湾曲すると、側縁部フラップ 3 5 は弾性部材 4 2 が収縮してパッド 3 の表面から上方へ起立するように動き、側縁部フラップ 3 5 の内側縁部 4 5 が脚 6 1 のつけ根の近傍に下方から当接する。側縁部フラップ 3 5 と外側芯材部分 5 9 との間には、開口 5 3 を有するポケット 5 4 が形成されている。かかる状態のおむつ 1 では、内側芯材部分 5 8 が脚 6 1 のつけ根とつけ根との間に多くのしわを生じることなく納まるように幅が狭く作られていて内側芯材部分 5 8 だけでは体液を速やかに吸収することができない場合でも、その体液は、矢印 6 3 で示される側方へ流れてポケット 5 4 に流入すれば、おむつ 1 から漏れることがないばかりでなく、外側芯材部分 5 9 によって吸収されるから、内側芯材部分 5 8 の吸収能力がそれによって補われる。図 2 に示されているように、外側芯材部分 5 9 は、パッド 3 の後胴周り域 4 7 寄りの後方部位で内側芯材部分 5 8 につながっている。ポケット 5 4 に流入する体液が多く、外側芯材部分 5 9 が飽和状態になるようなことがあれば、体液はその部分 5 9 から内側芯材部分 5 8 において比較的幅が広く体液を多く吸収保持できるように形成されている後胴周り域 4 7 寄りの部位へ拡散してポケット 5 4 における体液の量が減少するから、外側芯材部分 5 9 は体液吸収可能な状態を長く維持することができる。

【 0 0 1 9 】

ただし、芯材 3 3 は股下域 4 8 において内側芯材部分 5 8 と外側芯材部分 5 9 とに分離しているから、外側芯材部分 5 9 を含むパッド 3 の側縁部分 6 0 は、ダーツ 4 9 において容易に屈曲して脚周りによく密着する。また、内側芯材部分 5 8 と外側芯材部分 5 9 とが前胴周り域 4 6 寄りの前方部位においても分離していることによって、芯材 3 3 はおむつ 1 着用者の脚の動きを妨げることがない。ただし、この発明は、図示例とは逆に、内側芯材部分 5 8 と外側芯材部分 5 9 とを前胴周り域 4 6 寄りの前方部位で連続させ、後胴周り域 4 7 寄りの後方部位で分離させて実施することもできれば、内側芯材部分 5 8 と外側芯材部分 5 9 とを前後両胴周り域 4 6, 4 7 寄りで連続させて実施することもできる。

【 0 0 2 0 】

図 8 は実施態様の一例を示す図 7 と同様の図面であるが、おむつ 1 はその一部分のみが示されている。このおむつ 1 では、パッド 3 の縦方向の寸法を二等分す

る中心線 V-V (図 2 参照) の近傍において側縁部フラップ 3 5 の内面の部位 6 4 が接着剤 6 6 を介して外側芯材部分 5 9 を覆う表面シート 3 1 に接合し、フラップ 3 5 は部位 6 4 の上方で直立に近い状態にある。側縁部フラップ 3 5 は、それが図 7 の状態にあると、おむつ 1 の着用状態によっては弾性部材 4 2 よりも下方の部分がたるんでポケット 5 4 の内容積を実質的に小さくするように作用し、ポケット 5 4 への体液の流入を妨げることがあるが、図 8 のように側縁部フラップ 3 5 が弾性部材 4 2 と部位 6 4 との間で直立に近い状態にあると、そのように妨げることがない。

【 0 0 2 1 】

この発明において、パッド 3 を着用者の身体に対して保持するための手段は、図示例のパンツ型のカバー 2 に限らない。その手段として、例えば着用者の胴周りに掛け回すベルトを使用し、パッド 3 の前後端部 3 6, 3 7 をそのベルトに取り付けてもよい。カバー 2 がパンツ型の場合には、パンツの全体が透液性シートで形成されていてもよいし、不透液性シートで形成されていてもよい。図示例のパッド 3 の側縁部フラップ 3 5 は、基端部 7 1 (図 4 参照) のみが表裏面シート 3 1, 3 2 によって形成され、残余の部分が裏面シート 3 2 のみで形成されているが、フラップ 3 5 は、表裏面シート 3 1, 3 2 のいずれかにこれらとは別体のシートを接合し、その別体シートによって形成されていてもよい。これらの側縁部フラップ 3 5 は、不透液性であることが好ましい。

【 0 0 2 2 】

【発明の効果】

この発明に係る使い捨ての体液吸収性着用物品は、体液吸収性パッドの両側に形成されたダーツの外側部位で吸液性芯材の一部が着用者の脚に沿うように垂れ下がり、その一部分と側縁部フラップとがパッドの内方へ向かって開口するポケットを形成している。それゆえ、この着用物品では、脚のつけ根とつけ根との間で多くのしわを作ることなく肌によく密着するように芯材の幅が狭く作られていても、体液を漏らすことなく速やかに吸収することができる。芯材は、ダーツの内側に位置する芯材部分と外側に位置する芯材部分とが、ダーツの前後いずれかの部位で連続しているから、ダーツ外側の芯材部分で吸収した体液が比較的幅

広く形成されている内側の芯材部分へ拡散して、その外側の芯材部分は、体液吸収可能な状態を長く維持することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

着用物品の部分破断斜視図。

【図 2】

伸展した状態にある着用物品の部分破断平面図。

【図 3】

図 2 の中心線に沿った切断面を示す図。

【図 4】

図 2 の I V - I V 線切断面を示す図。

【図 5】

図 2 の V - V 線切断面を示す図。

【図 6】

図 2 の V I - V I 線切断面を示す図。

【図 7】

着用状態にある着用物品の切断面を示す図。

【図 8】

実施態様の一例を示す図 7 と同様の図。

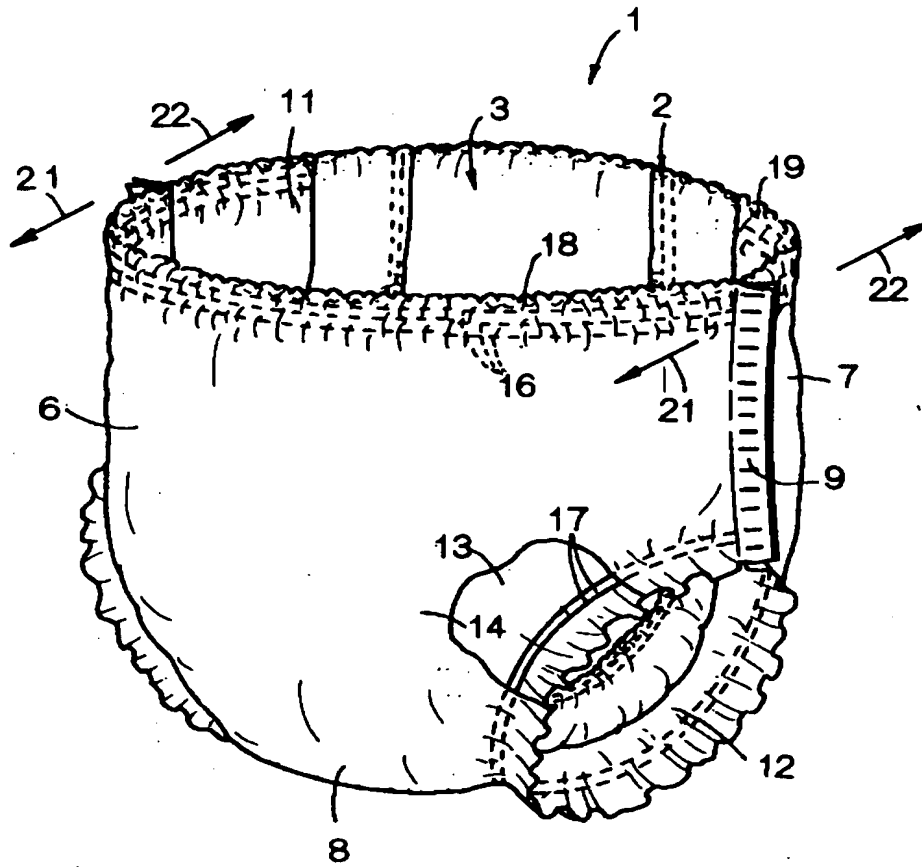
【符号の説明】

- 1 使い捨て着用物品（使い捨ておむつ）
- 2 着用手段（カバー）
- 3 パッド
- 2 3 中心線
- 3 1 表面シート
- 3 2 裏面シート
- 3 3 芯材
- 3 5 側縁部フラップ
- 3 9 端縁部

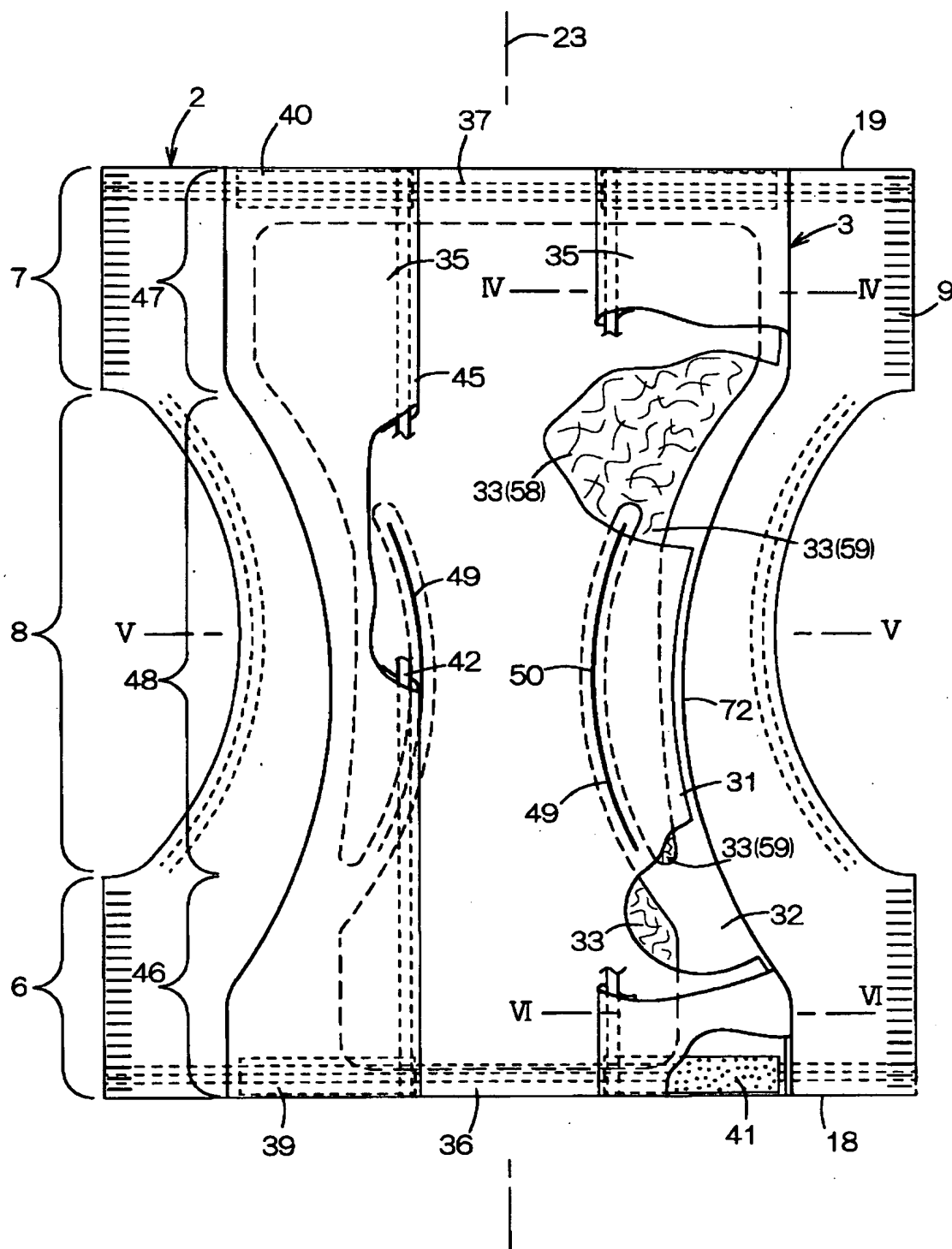
| | |
|-----|--------|
| 4 0 | 端縁部 |
| 4 2 | 弾性部材 |
| 4 5 | 内側縁部 |
| 4 6 | 前胴周り部 |
| 4 7 | 後胴周り部 |
| 4 8 | 股下部 |
| 4 9 | ダーツ |
| 5 0 | 頂部 |
| 5 4 | ポケット |
| 5 6 | 下面 |
| 5 8 | 内側芯材部分 |
| 5 9 | 外側芯材部分 |

【書類名】 図面

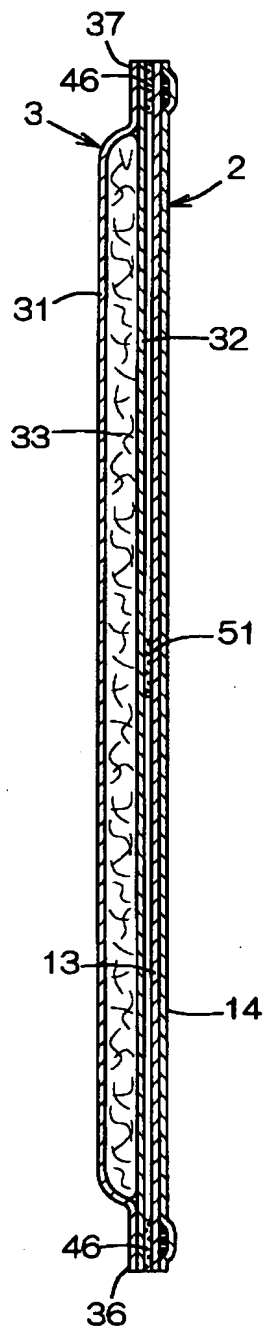
【図 1】



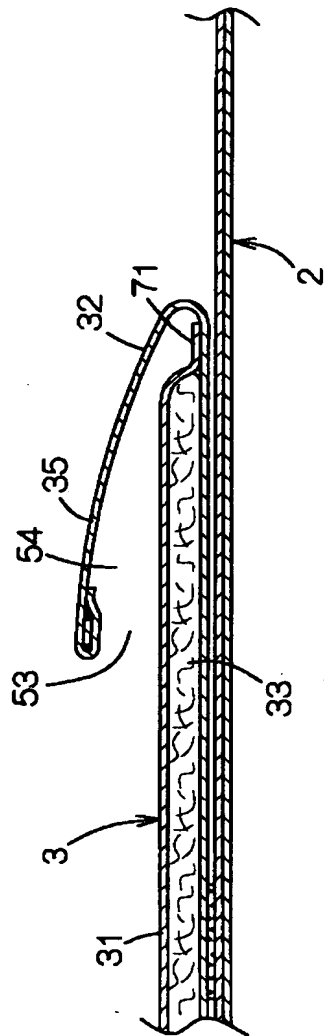
【図 2】



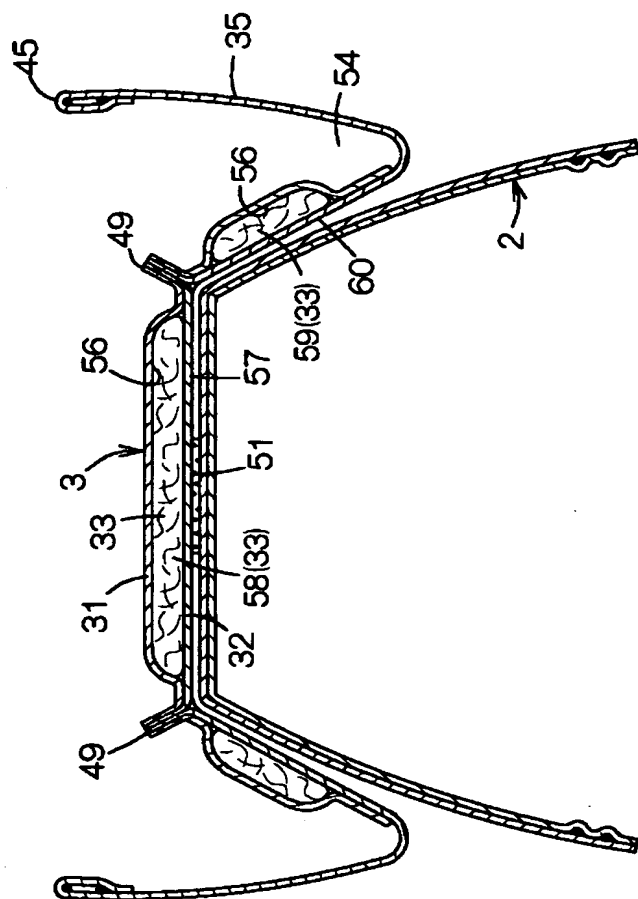
【図 3】



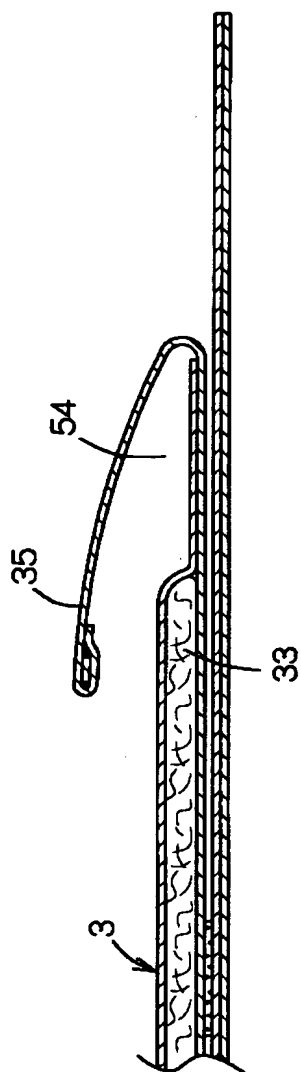
【図 4】



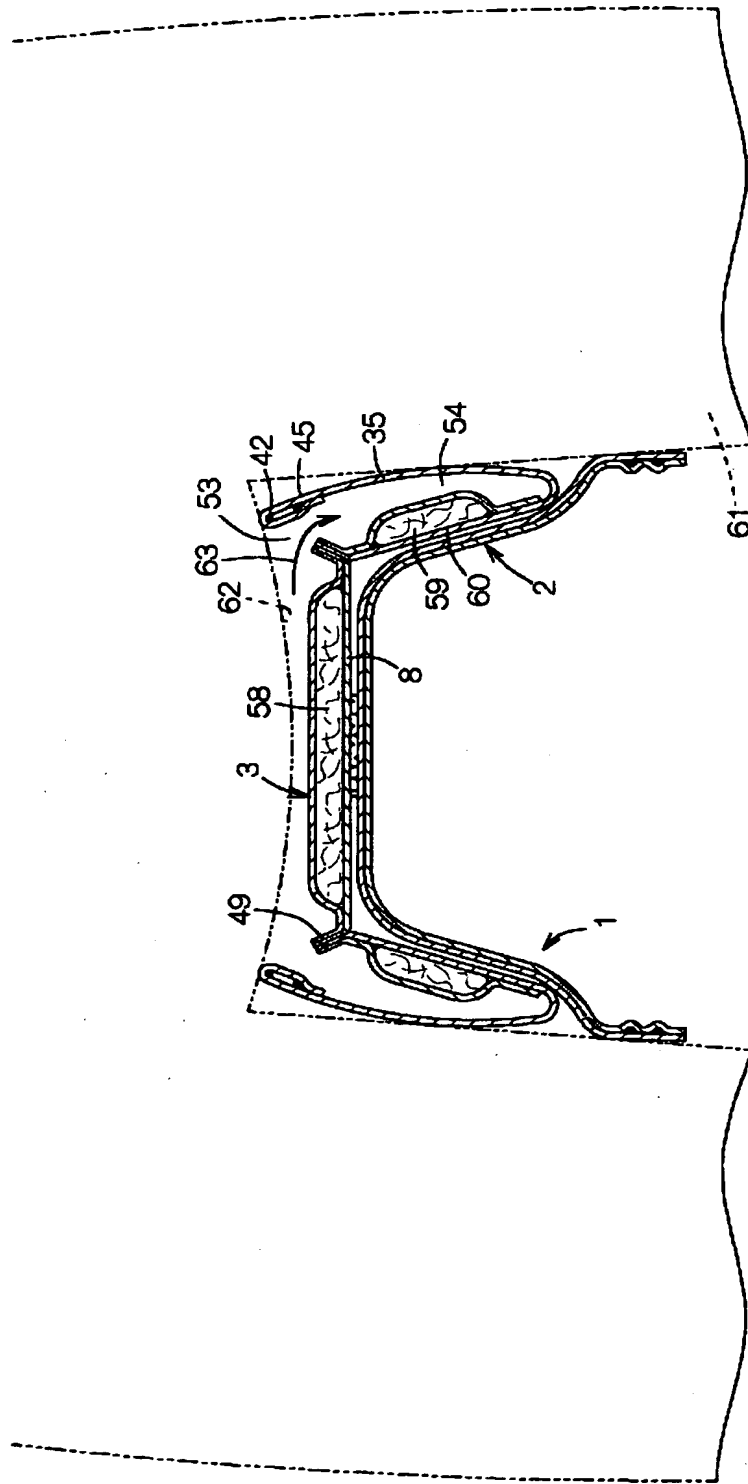
【図5】



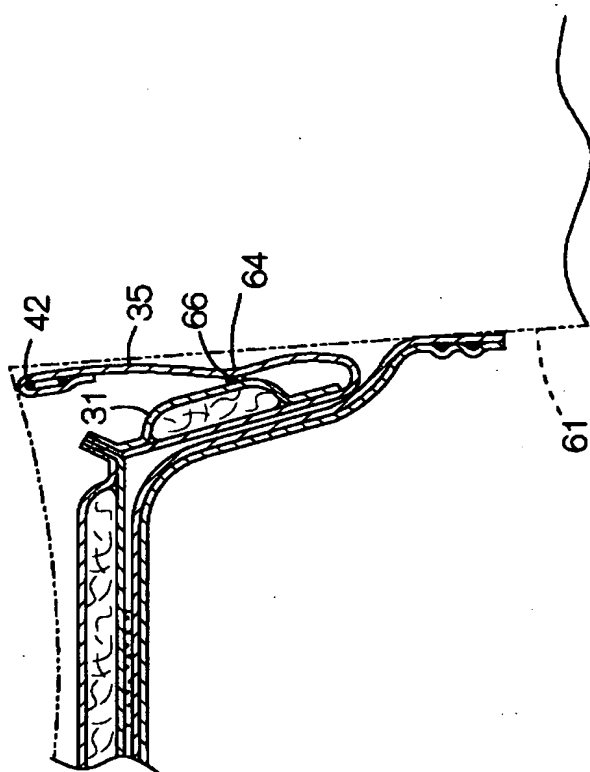
【図 6】



【図 7】



【図 8】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 股下域の幅が狭い使い捨て体液吸収性着用物品の股下域における体液吸収量の低下を防止する。

【解決手段】 使い捨て体液吸収性着用物品である使い捨ておむつ 1 における体液吸収性パッド 3 の股下域 4 8 は、幅方向の両側に物品 1 の前後方向へ延びる一対のダーツ 4 9 を有する。おむつ 1 は、吸液性芯材 3 を有し、芯材 3 はダーツ 4 9 と 4 9 との間に位置する内側芯材部分 5 8 と、ダーツ 4 9 の外側に位置する外側芯材部分 5 9 とからなる。内外側芯材部分 5 8, 5 9 は、ダーツ 4 9 の前後方向いずれかの部位で連続している。外側芯材部分 5 9 と側縁部フラップ 3 5 との間にはおむつ 1 の内方へ向かって開口するポケットが形成される。

【選択図】 図 2

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000115108]

| | |
|----------|-------------------|
| 1. 変更年月日 | 1990年 8月24日 |
| [変更理由] | 新規登録 |
| 住 所 | 愛媛県川之江市金生町下分182番地 |
| 氏 名 | ユニ・チャーム株式会社 |